

2025 コンテスト夏の陣ご報告

日本の気候区分が亜熱帯あたりになっちまったんじゃないかと 1 億 2 千万人が真剣に悩んだ今年の夏でした。そんな中、「高地は涼しいから」と己に言い聞かせ、せっせと日光の山奥に 2 ヶ月連続で通つちましたという、毎度ばかばかしいオハナシです。

例によって、全力で読み飛ばしちゃってください

JM1LZT 富山俊一

JA1ZCX(宇都宮大学アマチュア無線研究会OB会)は自称「七夕オペ」の集まりです。ごく一部を除き、本当に 7 月の第一土日(7 月 7 日付近)しか無線をやっていない。そのくせ毎回全国優勝を真剣に狙っていて、しかも過去に何度も優勝しちゃってたりもします。その上過去の 6m and down コンテストの全て(50 回以上)にエントリー。まったく、無線が好きなんだかそうでもないのか、たぶん本人達もあんまりよくは分かってなさそうです。

そんなアヤシイおじさん集団(時々おねえさんも)、もちろん今年も標高 1600m の NIKKO BASE に行ってきました。

この集団、冒頭でもご紹介した通り、あくまで「OB 会」なんです。もう 20 年以上、現役の学生さんの参加は皆無。一般社会以上に少子高齢化が絶賛進行中です。

学生さんと違い、年金もらってるとか、もうすぐもらえそうなおじさん達、体力は低下の一途。パイプ類の上げ下げが確実にキツくなっています。それでも長年に渡り築いてきたチームワークで、今年もなんとか設営は無事完了。アンテナ群の中でも一際大きな 50MHz の 7 エレ、私が持参しているにも関わらず、マストの上昇(垂直上げ)は、基本的に「還暦を過ぎたばかりの若手」に任せたり任せなかつたりしています(^O^)



JA1ZCX/1@NIKKO BASE 2025 July

これだけ毎年やっていると、「惰性」になりがちなところも少なくありませんが、一応可能な限りアップデートも図ってはいます。

昨年から「上のバンド対策」として IC-905 を導入したのが最近では一番大きな改善点でしょうか。実際、今年の本番では、これが大活躍してマルチ激増に大きく貢献しました。

人的なアップデート(?)は、5年前から私が参加し始め、その繋がりから私の大学無線部(宇都宮大ではない)の同級生、さらにはみなさんご存知の JH1LTR 古池さんまで。「外人部隊」の導入により、オペのローテーションが楽になったのと、CW オペの増加がプラス要素。私たちがエントリーしている XMA(電信・電話 マルチオペ オールバンド)という部門は「全部入り」のカテゴリーで、全バンド、モードにわたり、権謀術数の限りをつくし、とにかく 1 点でも多く取ったヤツの勝ちと

いう「デスマッチ部門」。設備があるのは当然として、やはり「人的資源」の量と質が勝負の行方を大きく左右します。

6m and down は V·UHF のコンテストなので、SSB,FM が主流と思われている方もいらっしゃるかもしれません、この数年、50,144MHzあたりは CW の QSO 数がフォーンの QSO 数を上回ってたりしますので、「CWOK の外人部隊」の導入はスコアに大きな影響を与えたろうと思われます。

そんなバックグラウンドを抱えての今年の 6m and down。昨年は屈辱の全国 4 位に沈み、今年こそはと気合いの入り方は例年以上。日曜の昼間には同じ敷地内の、よりロケーションの良い場所に 2.4GHz 以上を設置し直し、マルチ獲得大作戦を展開。その他のバンドも順調に駒を進めること 18 時間。終了直後の各バンドの成果の速報値を集計してみたところ、悪くない。悪くないどころか、ひょっとしたら優勝が狙えそうな数字に。

濃ゆ~い 2 日間の疲れの中、手応え感を手に、とりあえずは帰途に。

そして、10 月。運命の結果発表。

やりました♪

14 年ぶりの全国優勝♪♪♪

2 位に大差をつけての一等賞です。

私自身、僅かではありますが、これまでに個人としての全国優勝はありましたが、団体戦という自分の思いと行動だけでは御すことができない部門での優勝はまた格別です。

こんな素晴らしい経験のチャンスと結果を与えてくれた、JA1ZCX の関係者全員に、あらためて心より感謝します^_^

そしてこんな私の団体戦参加にも、絶大なご支援、ご協力頂いた 240 のみなさんにも感謝しかありません。

本当に、ありがとうございました。
もちろん、来年は連覇を目指します(でしょ？CRA (^_-)

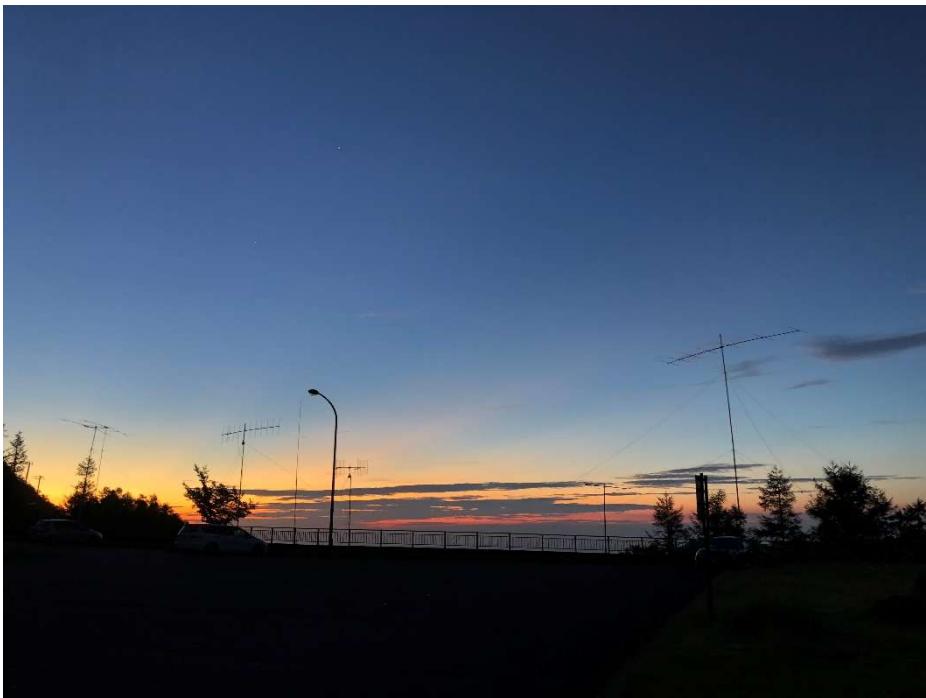
なんだかここまで 6m and down 特集みたいになっちゃいましたが、その翌月の 8 月にも、フィールドデーコンテストをやりに、前月と同じ 日光の運用地(NIKKO BASE)に行ってきました。

例年通り、相方は ZCX の JO1CRA,JM1WBP の二人。毎度のオッさん三人組珍道中でした(^。^)

コンテスト自体は大きなトラブルもなく、順調に進みました。ログ締め切り後の raw スコア(審査前スコア)を見た限りでは、日光オッさん三人組は、各部門で優勝出来てそうです。

ちなみに各人の参加部門ですが
JO1CRA 144MHz CW
JM!1WBP 28MHz CW
JM1LZT 50MHz CW

日光でコンテストとなると、もはや 50MHz は「LZT のもの」ってことにしてもらっちゃってて、みなさん参加バンドの選択に苦慮されているのだろうと思います。我儘我儘実効支配、ホントに毎度スマセン^^;



Field Day Test 2025 with JM1WBP&JO1CRA@NIKKO BASE

しかし、今回の本当のメインはコンテストではなく、「コンテスト後にちょっと気の利いた日光のホテルにお泊りし、温泉で疲れを癒した後、コンテスト中は食べられなかった美味しいメシをたらふく食べ、翌日は日光ベタ観光をする」ことでした(^^ゞ

20年以上コンテストで日光に通い続けている CRA も、こんなの初めてとのことで、もちろん私もでした。ちなみにこれ、CRA の発案で、一度やってみたかったんだそうです。

コンテストで疲れ切ったカラダに、日光の名湯は効きました。コンテスト中はヴィダーインゼリーが主食のカブトムシ生活な私に、ホテルで出された豪華な「人間のごはん」のまあ美味かったこと。



カンパあ~い♪@日光某ホテル

部屋に戻ったら後は枕投げ大会…のはずでしたが、実際には無線
よもやま話に花が咲いてしまい、寝不足のくせに夜中まで修学旅行
なみに盛り上がりがちやったオッさん達でした(^O^)

翌日は「実は日光観光初心者の LZT に日光ベタ観光をさせてやる
ツアーパー presented by CRA&WBP」

WBP のクルマに 3 人で乗り込み、私が行ったことがない日光の真
髓とも言えそうな滝や湖を、栃木を熟知している 2 人が案内してくれ
るという、まあ豪華なツアーでした。

かれこれ 6 年ぐらい日光に通い続けてはいますが、毎度無線だけ
やり、佐野サービスエリアでラーメン食って果てしなく寝てから帰るつ
てのばかりだった私にとって、本当に新鮮でステキな日光小旅行でし
た。

CRA、WBP 本当にありがとうございます^_^

たかが無線
されど無線

この趣味を通じ、年金もらう歳になっても新しい友だちができたり、
助けたり助けられたりの「新たな経験」を積める。

無線を完全にはやめず、(おそらく)生涯の趣味として選んだのは間
違いではなかったと心から思える、幸せな 67 歳の初冬です。



フィールドデー2025 のトンボちゃん♪@NIKKO BASE